

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
介護福祉理論		エステティックマスター学科/1年	2026/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	30回	2単位(30時間)	必須	
授業の概要				
<p>介護福祉理論では、介護職員初任者研修で学んだことを再度確認しながらレポートをまとめることで理解を深める。介護予防理論では、生理解剖学や栄養学の知識をもとに、介護を必要としない、いつまでも若々しく元気な方を増やす事を目指して学ぶ。</p> <p>アンチエイジング学は加齢とともに変化する身体の変化をはじめ、生活習慣と栄養や運動を結び付けて学習する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>若々しく元気で生活する為にはどうしたら良いのか、を解剖生理学、栄養学や運動生理学の観点から学び知識を深め、介護予防セラピストの資格取得を目標とする。又、介護職員初任者研修に参加し介護職として働く上で基本となる知識・技術を習得し、介護職員初任者研修の資格取得を目標とする。</p>				
回	テーマ	内容		
1～3	アンチエイジング学(栄養学含む)①	高齢化社会と介護予防、老化の生理学ー老化について・老化の五大学説ー		
4～6	アンチエイジング学(栄養学含む)②	老化の生理学ー高齢者の身体的特徴・細胞の加齢変化・身体組成の加齢変化ー		
7～9	アンチエイジング学(栄養学含む)③	加齢に伴う体の変化ー運動器の加齢変化・感覚器系の加齢変化・見た目の加齢変化ー		
10～12	アンチエイジング学(栄養学含む)④	加齢に伴う体の変化ー消化器系の加齢変化～免疫系の加齢変化までー (介護予防・ウエルネス学P.67～84)		
13～15	アンチエイジング学(栄養学含む)⑤	老化を引き起こす因子 (介護予防・ウエルネス学P.86～106)		
16～18	アンチエイジング学(栄養学含む)⑥	生活習慣とエイジングケアー食事・栄養とエイジングケア・高齢者の食事と栄養ー		
19～21	アンチエイジング学(栄養学含む)⑦	生活習慣とエイジングケアー運動とエイジングケアー (介護予防・ウエルネス学P.139～159)		
22～24	アンチエイジング学(栄養学含む)⑧	生活習慣とエイジングケアー睡眠とエイジングケアー (介護予防・ウエルネス学P.160～177)		
25～27	アンチエイジング学(栄養学含む)⑨	生活習慣とエイジングケアー美容とエイジングケアー (介護予防・ウエルネス学P.160～187)		
28～30	アンチエイジング学(栄養学含む)⑩	生活習慣とエイジングケアーデトックスとエイジングケアー、サロンマネジメント		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・日本スパ・ウエルネス協会 『介護予防ウエルネス学』 ・日本スパ・ウエルネス協会 『介護予防セラピスト認定試験 例題集』 ・筆記用具 ・ノート 		出席率	10.0%	出席率90%以下の場合、成績評価の対象外となるので注意すること。 遅刻・早退は10分まで。 遅刻・早退3回で欠席1回とする。
		授業態度	10.0%	
		小テスト	10.0%	
		期末試験	70.0%	